

校 園 名：鳥取大学附属幼稚園

所在地：〒680-0941 鳥取市湖山町北2丁目465

電話番号：0857-28-0010

記載日： 2016年5月20日 記載者：伊奈 公子 記載者役職：副園長

貴校の校風、おおまかな特色について：

○子ども主体の保育

子どもたちの自主性・自発性を尊重する“自ら選んだ遊び”を中心にした保育を行っている。
子どもたちは、遊びや時間・空間を自ら選び、納得がいくまで遊んでいる。

○多彩な園外保育

各年齢に合わせて、様々な園外保育を計画・実施し、体験の幅を広げている。

○子育ての支援

保護者の「保育参加」を行っている。保育に保護者が「保育者」として参加し、子どもたちの様子や幼児教育を理解し、子育てに生かしていただく機会となるようにしている。未就園児対象の「おやこぴょんぴょんサークル」や「預かり保育」など、子育ての支援に取り組んでいる。

貴校の卒業生の活躍状況について：

把握していない

貴校勤務経験者の先生方が公立学校・教育委員会などへ戻られた後の活躍状況について：

把握していない

魅力のある、特色のある、または、今後、公立学校へも展開できそうな先導的な取り組みなどについて：

○わくわく広場（預かり保育）

- 子育ての支援の一環として、5ヶ月の試行期間を経て平成24年4月から預かり保育を実施し、希望する幼児を、通常保育終了後から午後5時半まで預かっている。専任の保育士2名の他、鳥取大学の学生がボランティアとして参加し、学生にとっても学びの場となっている。

○保育参加（保護者）

- 保育参加は、「参観」と異なり、保護者が保育の中に入り、子どもたちと一緒に遊んだり活動したりする中で幼児期の子どもたちの様々な姿や育ち、遊びの大切さを実感してもらう機会を提供している。保育参加の後は、参加者と担任とで“ミーティング”を行い、その日の子どもたち

の様子などを振り返ったり、子育てについて話し合ったりしている。

年少：平日保育参加 2 回（1 学期、3 学期） 日曜保育参加 1 回（12 月）

年中：平日保育参加 1 回（3 学期） 日曜保育参加 1 回（6 月）

年長：平日保育参加 1 回（1 学期） 日曜保育参加 1 回（6 月）

○小学校教員の保育参加研修

- ・就学を目前にした 3 学期、小学校教員を対象に保育参加研修を実施し、幼児期の遊びや子どもの様子を知ってもらうとともに、接続期の教育について話し合う機会を設けている。対象を当初の附属小学校のみから鳥取市内の全小学校へ拡大し、保育参加と意見交換を行っている。

○幼保一体化に向けた幼児教育・保育相互理解研修事業の受入（県教委主催）

- ・県教育委員会と福祉保健部が主催する事業の研修生受け入れ施設として、保育体験研修を実施している。希望する県内の幼稚園・保育所・幼保一体化施設・幼保連携型認定こども園に勤務する者の「一日保育体験」は、オリエンテーション、保育参加、給食（お弁当）、意見交換等を実施しており、参加者にとっては設置者の異なる施設を訪問し、他施設の保育を体験することは貴重な学びの場であるとともに、本園にとっても教育方針や保育環境を理解していただいたり、自園の保育を振り返ったりする機会となっている。

地域において、現在、貴校はどのような存在であると考えますか：

県教育委員会の各種研修会を積極的に受け入れ、県内の幼稚園・保育所等教職員の学びの場となっている。また、公開研究会には、近年、保育所や認定こども園からの参加者が増加しており、本園の遊びを中心とした教育方針、保育環境の工夫、研究内容などが、各園の参考となっている。

子どもたちが自ら遊びを見つけ、試行錯誤し、遊びを深める中で様々な経験をするを大切にしている本園は、様々な保育形態の幼稚園や保育所等がある現状を踏まえて、幼児教育のモデルとしての存在価値を高めていきたいと考えている。

附属学校の存在意義、貴校の存在意義について：

○大学の附属である幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校を活用し、主体的かつ協働的な学びを実現するための先導的な教育研究に取り組むことが求められている。大学各部等との連携を強化し、大学の資源を活用した研究に取り組み、これまでの研究成果として明らかになった幼児期の学びと小学校以降の教育とのつながりを、幼小中接続期の連携に重点を置いたカリキュラムを開発し、附属モデルとして地域に還元できると考える。

○県内幼稚園・保育所等の教職員の学びの場として本園が活用されることで、地域に必要とされる幼稚園となり、また、幼児教育のモデル園としての存在になると考える。

○県との人事交流である教員が、異動した公立小学校で、核となって地域の幼小連携を推進することが、本園での教職経験を生かすことができると考える。

○地域学部地域教育学科では、幼稚園教員免許の他、保育士資格も取得できる。本園は、これらの学生の教育実習を受け入れ、将来の保育者をめざす学生の学びの場となっている。本学教員も実習中の学生の様子を参観にしばしば園を訪れ、職員と意見交換をしたり、実習の事前事後指導を充実し、人材育成に努めている。